幻々楼開店中
梅津ゆり
スィー
おおっ！
ぱしゃ
描かれた魚が動く面白い皿なのに
なんで誰も買ってくれないのだろう？
ブク
ブク
ブク
ざばっ
わっ!!

ここで買った酒瓶
酒が漏るから返品するよ
ヒビは入ってないようですが……
その蝶々を捕まえて！
ためしに酒を入れてみましょう
トトト…
蝶々？
どこ？
絵の中から逃げたの！
あら いやだ いなくなっちゃったじゃない
探してきなさいよ
何してるのもう！
なんだか瓶の色が変わったな
赤い…
わかった！
カーッ
こいつ酒を盗み飲みしていたな！
この人たちうるさいんだよなー
私は見てなくて…
ヒソ
役立たず！
ヒソ
この店の主なのに…
ヒソ
ひどーい
罰としてしばらく花瓶として使われることになった
あわてて謝ったが
くるっ
機嫌を悪くした女達はみんな後ろを向いてしまった

この窓も売り物かい
ええそうですよ
女物のチャイナ服が殺されていた
バタン
さる名家の家が壊された際外されてうちに売られてきたもので
まて！
その窓を覗くとかつて窓から見えていた風景が見えることもあるそうです
開いていた窓から逃げた犯人は
でも魅入られてあちら側へ行ってしまわないように気をつけて……
あれ？お客さん？
カタン
自らたき火に飛び込んで自害してしまった

騒がしいな
ガタッ
ガッ
おい誰かいるのか?
椅子!? いや何だコレ?
ダッ
この椅子自分のことを馬だと思ってるらしい
ヒヒ
ン
これじゃ売り物にならないな 危ないし
仕方がないので馬屋につないでおいたら
たてがみと尾が生えてきた
さる高名な書道家を写したといわれる絵
どういう訳かこの絵にその魂が宿っているらしい
困った事に先生いたずらが好きで
絵から抜け出しては勝手に店の中の書を書き換えてしまう
閑心見誠
……
閑店休業
あっ!

おしまい